

安倍首相のGW

安倍首相は4月29日から5月8日までヨーロッパへ行っておられました。共同声明やプレスリリースなどから原発関連部分を抜粋します。

ちょっとその前に

エネルギー基本計画では”一応”

「エネルギー基本計画」はじめに

震災前に描いてきたエネルギー戦略は白紙から見直し、原発依存度を可能な限り低減する。ここが、エネルギー政策を再構築するための出発点であることは言を俟たない。

と言っていることを踏まえて、以下の抜粋部分を読むと、疑問符が一杯出てきます。???

それでは見ていきましょう

2014年5月1日 英国 シティ主催歓迎晩餐会 安倍首相スピーチ（一部）

参考資料①

経済成長のためには、安定的で、安いエネルギー供給の実現が不可欠です。この観点から、私は、「責任あるエネルギー政策」を決定しました。世界のどこにも劣らないレベルの厳しい安全基準を満たしたところから、目下ひとつとして動いていない原子力発電所を、ひとつ、ひとつ、慎重な手順を踏んで稼働させていくことにしました。

原子力における協力で、英国と日本は、長い関わり合いをもっています。原発事業会社、ホライズン・ニュークリア・パワー社は、ご承知のように、日立製作所の子会社です。また、東芝は、本年1月、原発事業会社ニュージェン社の全株式の6割を取得することを発表しました。

フクシマの教訓を、英国と共有し、より優れた技術の開発に取り組めればよいと願っています。

日英共同声明（一部）

参考資料② 日英共同声明（仮訳）

英国は、グローバルな、平和的かつ安全な原子力の利用と再生可能エネルギーの導入の加速を含む、日本の新しいエネルギー基本計画を歓迎する。日英両国は、企業間の協力の促進や**民生用原子力の協力の深化**によるものを含め、クリーンエネルギーの開発促進において共に取り組んでいる。

気候変動とエネルギー協力に関する日英共同声明（一部）

参考資料② 気候変動とエネルギー協力に関する日英共同声明（仮訳）

両国は、国際原子力機関(IAEA)の安全基準に沿って、継続的な改善と透明性の原則に基づき安全性とセキュリティを確保しつつ、**世界的に増加する原子力の平和利用において、引き続き、重要な役割を担っていくことを確認した。**さらに、我々は、**原子力が安定かつ受容可能な価格のエネルギー源を供給し、将来の低炭素エネルギー・ミックスの中で主要な役割を果たすことを信じる。**したがって、日英両国は、**日本の企業、特に日立と東芝による英国の新規原発建設プログラムへの多額の投資と、こうしたプログラムを成功させるために不可欠となる商業的な連携を発展させるという両企業の関与を歓迎する。**

(10)両国は、民生用原子力分野における協力を強化する。両国は、この文脈において、第4世代原子炉ASTRID 計画及び高速炉協力に係る日本国当局とフランス共和国原子力庁の間の取決めの署名を

(注釈1)

歓迎する。

(中略)

両国は、産業面において、日仏企業が共同開発した原子炉 ATMEA1 の国際市場における展開によっ

(注釈2)

てトルコを始めとする第三国における協力を深める。両国は、トルコで予定されているプロジェクトに関して実施された協力にならい、この技術を選択した国のニーズに応え共に歩むために、組織的に連携する。さらに、核燃料サイクル分野については、六ヶ所再処理工場の安全かつ安定な運転実現のための産業分野での協力を深化する。

日仏共同プレスリリース 注釈

注釈1)
この署名は日本の文科省、資源エネルギー庁とフランスの原子力・代替エネルギー庁(CEA)とで取り交わされたようです。

5/13現在、私がインターネットで調べた範囲では、その具体的取決め内容を見つける事ができていません。なおASTRIDとはフランスが開発中のナトリウム冷却高速炉のプロトタイプなんだそうです。(参考資料④)

注釈2)
ATMEA1とは三菱重工とAREVA社の合併会社ATMEAが開発・販売する第3世代の原子炉です(参考資料⑤)。そしてトルコへの原発輸出は着実に話が進んでいるようです。。。(参考資料⑥)

私の感想

英国では

- # 引き続き原子力利用では重要な役割を担っていく
- # 原子力はエネルギーミックスの中で主要な役割を果たすことを信じる
- # 日本の企業が英国の原発推進にどんどん投資することを歓迎

フランスでは

- # “新世代”の原子炉開発の協力を強化
- # トルコをはじめとした海外への売り込みはどんどん進める

なんだかもう原発推進、イケイケな感じですが、エネルギー基本計画では「原発依存度は可能な限り低減させる」とも言っていて、訳が分かりません。ただエネルギー基本計画で「原発依存度」に触れている部分を見直すと前ページで引用した『はじめに』の部分と

「エネルギー基本計画」第2章 第2節 各エネルギー源の位置付けと政策の時間軸

原発依存度については、省エネルギー・再生可能エネルギーの導入や火力発電所の効率化などにより、可能な限り低減させる。

この部分の2ヶ所です。そしていずれにも共通するのは、文の前に「”なぜ”原発依存度を低減させるのか？」の記述が”ない”点です。要するに「”ただ”言っているだけ」なんです。そうすると英国、フランスでの動きもこの態度がにじみ出ている、と見る事ができると思います。

※それからもう1点

何度でも突っ込みますが、また安倍首相は「安全基準」と言ってますが、「規制基準」です。規制庁が「安全基準」から「規制基準」に言い換えた意味をしっかりと把握してもらいたいです。(詳しくは本ポスターシリーズ2014年1月31日で紹介しています。参考資料⑦)

<参考資料>

- ①首相官邸HP
http://www.kantei.go.jp/jp/96_abe/statement/2014/0501speech.html
- ②外務省HP 日英首脳会談 (概要)
http://www.mofa.go.jp/mofaj/erp/we/gb/page18_000286.html
- ③外務省HP 日仏首脳会談 (概要)
http://www.mofa.go.jp/mofaj/erp/we/fr/page24_000267.html

- ④国立国会図書館「調査と情報」2014年4月4日発行 781号
高速増殖炉「もんじゅ」をめぐる経緯
<http://www.ndl.go.jp/jp/data/publication/issue/>
- ⑤三菱重工ニュースリリース 2007年9月3日
「第3世代原子炉のための新会社ATMEAをフランスに設立三菱重工とAREVAの合併で」
<https://www.mhi.co.jp/news/story/200709030038.html>
- ⑥三菱重工ニュースリリース 2014年1月7日
「トルコ原子力IPP推進室」を新設シノップ原子力発電所プロジェクトへの取り組みを加速」
<https://www.mhi.co.jp/news/story/1401075470.html>
- ⑦官邸前展示ポスターバックナンバー
<http://brownmorning.s3-website-ap-northeast-1.amazonaws.com/html/kanteimaedoc.html>